

新聞の読み方や構成など興味深く

常翔啓光学園中学校の生徒60人



新聞を活用した総合学習を行っている常翔啓光学園中学校（枚方市禁野本町）で11日、本紙編集企画室の田井東一宏次長が「新聞はどうつくられているのか、どう読むのか」と題した

出前授業を行った。写真。同校の中学1年生約60人が、新聞の読み方や構成などについて学んだ。

同校の総合学習は「自分で調べて、まとめて、発表する」がテーマの一つ。今年度から、生徒らの問題解決能力などのさらなる育成のため、教育に新聞を活用する「NIE」を始めた。1年を通してスクラップや記事の書き方、写真の撮り方などを学び、3学期末に集大成として、模擬新聞を作ること目標にしている。

この日は、田井東次長が新聞の目的や構成、ネットとの違いなどを講義。「新聞は『伝えたい』『伝えるべき』と判断した記事を掲載している」と説明したうえで、「ネットとは違い、自分の興味のない記事に触れることができる」と新聞の魅力を語った。読み方については、「まず見出しに目を通し、興味を持ったら記事も読んでみよう」とアドバイスした。